



この会報は、共同募金の配分を受けて発行されています。

平成31年3月末日 発行

# やまびこ

## No.252

### 発行

公益社団法人  
埼玉県手をつなぐ育成会  
理事長 村山 勇治

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂2-15-3 母子福祉会館内  
Tel. 048-833-0444 Fax. 048-833-0400  
E-mail:saitama@ikuseikai.jp  
ホームページ <http://saitama.ikuseikai.jp>

定価50円  
(購読料は  
会費に含む)

## 糸賀一雄が命を燃やし 目指した世界



理事長  
村山 勇治

滋賀県大津市で戦後間もない荒廃のさなか、滋賀県庁幹部職員であった糸賀一雄は、社会から半ば放置されていた戦争孤児や、知的障がい児の福祉・教育・医療を行う「近江学園」を創設しました。のちに、同志と認め合った池田太郎、田村一二から、「この子らに教育、福祉の必要性を」との熱心な訴えに共感し、公職を投げうって、近江学園で障がいのある子どもたちと暮らす中で、その生きる姿に「だれととりかえることのできない個性的な自己実現をしている」、それを「世の光」と見て、さらにそれを輝かせることが、人間社会に信頼を回復し、平和と喜びのある社会につながるという「この子らを世の光に」の言葉を残しました。

糸賀一雄は、この有名なフレーズの他にも、実に多くの言葉を残しており、それらは今日糸賀一雄語録として、語り伝えられています。それらを一読しただけで、単に障がい児者の福祉や、教育に留まらず、日本いや世界の平和にもつながる壮大な思想がそこに存在していることが見て取れます。

今年度、厚生労働省と糸賀一雄財団が主催実施団体となって、あの忌まわしい、「津久井やまゆり園殺傷事件」で、犯人が語った「障がい者には価値がない」「障がい者は不幸をもたらす」に象徴される、歪んだ優生思想の対抗軸として、糸賀一雄の思想、価値観が、共生社会への基本的な理念として、全国規模の事業に発展し、語り継ぐ活動も始まりました。


こうしたことから、今年11月9日、新元号元年の第53回手をつなぐ育成会連合会関東甲信越ブロック大会のテーマに、「この子らを世の光に」を取り上げることとなりました。

**購読料**

年間  
**3,900円**  
(先払い)

毎月「手をつなぐ」をお届けします。

1冊あたり、325円＝コーヒー一杯です。ときどき「手をつなぐ」を片手にリラックスティーミーしてみようか？



元気の出る情報・文庫誌  
**手をつなぐ**  
2019  
2月  
お父さん 出番ですよ！

**「手をつなぐ」を  
読んでいますか？**

☆最先端の情報をお届けします

知的障害のある人の生活に関する問題や福祉施策の最新情報から、全国各地の先進的な取り組み、著名人によるエッセイなど、情報がつまんだ「手をつなぐ」を是非活用ください。

権利を、徹底的に保障せねばならぬ。ということなのである」とも言っています。

命を燃やし尽くして、大きな功績を残した糸賀一雄は、現代では働き盛りとも言うべき54歳の生涯を、講演活動の壇上で閉じています。

私たちは、活動の中心にこの思想を置いて、この子らが磨かれ、輝く姿を見るために、不断の努力を続けましょう。

本人活動支援推進事業部主催  
学習会に参加して

知的障がい者&保護者のための  
「性(生)と健康」についての学習会

第1回 平成31年1月20日(日)

13時30分～15時30分

第2回 平成31年1月27日(日)

10～12時

会場 栗橋文化会館イリス  
(久喜市)

講師

保護者向け

重田 博氏

(県育成会スポーツ顧問・埼玉障がい者スポーツ協会 副会長)

本人向け

小林 孝次氏

(上尾かしの木特別支援学校 教諭)

【第1回のお話の流れ】

講義(保護者向け)

① 知的障がいのある人の健康・身体について

② 性について(全編・性に関する考え方・現状・課題)

講義(本人向け)

① 体の成長(変化)

② 心の成長(変化)

講師からのメッセージ

重田 博氏

性(生)に関することは、本人たちにとって興味関心のある内容です。その反面、本人・保護者の方々は、誰にも相談できず、悩みや不安を抱えています。成長段階の一人ひとりの身体的・精神的な特徴を理解することで、行動を抑止するのではなく、本人たちの意思などを尊重しながら、肯定的に捉え、適切な行動や支援ができるように一緒に学習させて頂きました。

Gボール・Sボールは、日頃の運動不足を解消し、リフレッシュできる最適な用具です。本人たちは、自ら身体を動かしたりすることが苦手です。家の中でも手軽に楽しみながら取り組むことができます。種目を本人・保護者に体験していただきました。



ストレッチボール & バランスボール



バランスを取りながら手足の運動



【第2回のお話の流れ】

講義(保護者向け)

- ① 性について(後編)体と性の育ち・親の関わり方・恋愛・セルフレジャー等

講義(本人向け)

- ① 男女交際のルールやマナー
- ② 異性や友だちとの関わり方(パーソナルスペース・ネットの使い方)



実技:デスゲッターナイン



実技:スカットボール



学習会に参加して

久喜市栗橋手をつなぐ育成会

友田 由紀

知的障がい者は、同年齢の一般人に比べて、急性死・突然死が3〜10倍多いという報告があり、その理由として運動不足による高度肥満と合併症、健常者よりも早いといわれる老化現象に伴う健康障害、植え付けられた我慢する癖、周囲の配慮、医学知識の欠如、放

置などの理由があると知りました。運動不足、余暇の時間が長く家に閉じこもりがちな息子に、普段の生活のテリトリーから離れ、友人や支援者など、人との交流、文化、スポーツへの取り組みが大切であると教えていただきました。

次に、性教育については、つぎのようなことが学べました。

性の発達は健常者の人たちと殆んど変わらない、発達段階に応じたこまめな性の支援が必要である。思春期に入る前に大切な体を作る習慣としてボディイメージ(着替え、歯磨きなどは鏡を見ながらやる)が大切である。自分の身体の成長を理解するために事前学習をして自分の身体におこる変化を学ぶ。変化に気づいたときに声をかける。新たな発達段階を乗り越えるために、子供に注目し、頑張りを認め、出来ない部分ではなく出来ているところを見る。自己決定を出来る子どもに育てる。最初は大人が口出しをし、一緒に考え、最後は子どもが決定する。叱る前に子どもの言い分を聴く。

普段、息子に対し感情的になり否定的な言葉をかけがちで私なので、これからは肯定的な言葉で冷

静に話が出来るようにしていきたいと思いました。

さらに、後半は、バランスボールやストレッチポールを使つての運動を教えてくださいました。ただ座るだけでなく色々な活用法や呼吸法があることを知りました。ストレッチポールは、円筒形の発泡スチロールにカバーを被せた1メートル程のポールでしたが、その上に横になり呼吸法を使いながら運動を行うとはじめはぎこちなく感じましたが、身体がほぐれてきて徐々にポールと身体の一体感とずつと寝ていたい様な心地よさを得ることができました。

日頃は、運動不足の私達親子でしたが、2日間を通して、とても楽しく運動することもでき、重田先生・小林先生にぜひまたお越しただきたいと思いました。



権利擁護推進事業部主催研修会

「どこまでが虐待？」

施設、学校、地域」

日時 平成31年1月18日(金)

10時～12時

会場 埼玉会館7A会議室

講師 又村あおい氏

八潮市手をつなぐ親の会

関 正子

又村あおいさんの研修会に今回初めて参加させていただきました。

わたしの息子は、46才になります。越谷養護学校の高等部3年生の時、クラス内のお友達がアルバイトをしている事に刺激を受け、親にも言わず一人で学校の帰りに、アルバイトを募集していた焼肉店へ面接を受けに行きました。「僕、障がい者ですけど働かせていただけませんか？」と言って採用され、現在も週2日、洗い場で働いています。面接をしてくれた店長さんが、息子と一緒に腕相撲をして、「ビールケースをもってごらん」と言ってくれて、「それだけ力があるなら大丈夫！来ていいよ」ということで頑張っております。

息子が自分で見つけた職場は、今まで心理的虐待や、身体的虐待、

二〇一九年三月末日発行(二五二号)

そして、経済的虐待は、ありませんでした。働くことを息子は、生き甲斐にしています。

又村さんのお話は、「どこまでが虐待か？ 虐待防止法、企業における虐待について」は親として改めて学ぶことばかりでした。一般社会も相手がなげなく言った言葉が、受け止める人によって、捉え方が違ってきています。障がい者に対する言葉の暴力や、いじめや、虐待行為の発生要因は地域の皆さん、一人一人が理解できていないからです。

障がい者虐待ゼロは、又村さんの言うとおりに不可能かとは思いますが、地域の皆さんや、行政と一緒に協力し、共有し、住み慣れた街が、障がい者にとっても、この街に住んでいて、本当に良かったと思えるようなやさしい街になることを、心から願っております。

川越市手をつなぐ育成会

理事 吉野 佐恵子

今回の研修会は、虐待の実態を最新のデータと共にお話して下さいました。

「使用者」からの虐待では、賃金の問題が多く、安く働かされているのに、本人も親も文句も言わず納得してしまっている実態がわ

かりました。

「障害者福祉事業者」からの虐待では、支援の方法がわからず、虐待の認識が少ない40代以上の男性職員が、行動障害のある20代30代の男性を力づくで押さえつけようとするのが虐待となっていることがわかりました。

特に、私が一番衝撃だったのが、「養護者」からの虐待の件数が一番多く、また、減っていないという事実でした。

又村さんは、養護者からの虐待をマグマが徐々に溜まり爆発する「火山型」と例えておられました。「日々のストレス、我慢、自由のなさなどが積もり積もって吹き出す！」そんなイメージでしょう。爆発してしまいう前に何か手助けできたら防ぐことができる虐待です。

又村さんが、研修の冒頭に挙げた「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」が正式名称です。家族支援の重要性を改めて感じました。

あとがき

育成会のみなさんにお世話になって5月で1年になります。手探りで事務作業していましたが、2年目となり少しは成長しているのを感じていただけると嬉しいです！ 《事務局長 根本》

未来あんしんサポート

未来あんしんサポート

「知的障がい」や「自閉症」等の障がいのあるお子さまのために「親なきあと」をサポートするご提案です

親なきあとのこと... お考えですか？

障がいのあるこの子が お金の管理をできるか心配...

この子が経済的に 困らないようにしてあげたい。

この子への想いを 誰かに引き継ぎたい。

お問い合わせはこちらへ

未来あんしんサポートに関するお問い合わせ ジェイアイシー生命保険信託相談ダイヤル 0120-580-503 通話料無料 受付時間:月～金(祝日・年末年始を除く)9:00～17:00

[生命保険募集代理店・信託契約代理店]

株式会社ジェイアイシー

本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11 新宿三井ビル2号館2F ホームページ www.jicgroup.co.jp

[生命保険引受保険会社]

FWD富士生命保険株式会社

[所属信託会社]

みずほ信託銀行株式会社

登録No.FWD-C1549-1806

公益社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会

【おわび】 やまびこ251号にて今後の予定の日付けに誤りがありました。お詫び申し上げます。